

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 令和1年8月27日

1 基本事項	
公の施設の名称	大野台南テニスコート
指定管理者の名称	淵野辺公園グループ運営共同企業体
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)
施設設置条例の名称	相模原市立グラウンド等体育施設に関する条例
施設の設置目的	スポーツの振興及び市民の体力と健康を増進するため
施設概要	所在地:南区大野台3丁目45番152号 開設年月日:平成19年11月 面積:6,300㎡ コート4面(Aコート:砂入り人工芝コート1面・Bコート:砂入り人工芝コート3面)
施設所管課の名称	スポーツ課

2 管理実績						
項目(単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数合計(人)	28,776	28,826	29,695	29,942	29,479	29,991
利用料金合計(円)	4,889,500	4,995,500	4,996,500	5,706,850	6,418,100	6,526,650

3 成果指標の達成度	
指標名(単位)	テニスコート利用件数
指標式と指標の説明	達成度 = 実績件数 ÷ 目標件数 × 100 実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。 平成26年度の目標値は、東日本大震災等の影響に鑑み、平成24年度の利用件数(又は人数)を基に設定した。なお、平成27年度以降の目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(人)	-	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
実績値(人)	4,986	5,047	5,091	5,097	5,053	5,121
達成度(%)	-	100.9%	101.8%	101.9%	101.1%	102.4%

4 評価		
指標名	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	A	前年度から引き続きテニスコートの利用率は高く、目標値を上回った。
事業・業務の履行状況	A	利用ニーズが高いテニスコートとして適正な管理運営を実施している。
利用者満足度の向上度	B	利用者満足度については、1回目91.0%、2回目89.0%と、一部目標値の90.0%を下回った。
財務状況の適正性	B	人件費や光熱水費が増加に加え、利用料金・使用料収入が減少し、グループ全体で1,600万円の赤字となった。当初見込んでいた事業収入を大きく下回り、収支計画の適正という点で課題が見受けられた。  この項目はグループ全体の収支状況を評価する。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における「評価」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「A」もしくは「B」が付き、「C」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「A」もしくは「B」が付き、「C」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「C」である。
- C: 「C」と「D」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「C」と「D」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における「3 指定管理者の団体本体の経営状況」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
  - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<p>平成26年からの指定管理期間中、継続して利用率93%以上という高水準を維持し、目標件数を達成することができたことは、人気の人工芝コートであるということに加え、利用者満足度調査のコートの状態を問う項目で90%以上を保っていることから分かるように、日常的に施設の維持管理を適切に継続していることと評価できる。高利用率の施設であるが、人工芝の経年劣化等、コンディションの維持が難しい時期を迎えることから、引き続き安全面に配慮した施設運営を継続してもらいたい。</p>
------	---

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	令和1年8月27日
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ全体として大きい赤字となったが、利用者の増加に向けた取り組みや、光熱水費の削減に向けた取り組みなど、指定管理者の手腕に期待したい。</li> <li>・公園や施設に愛着を持ってもらえる取り組みや、知名度が向上するような事業を期待したい。</li> <li>・施設の老朽化が進行する中、修繕や管理についてよく取り組んでいることについて評価する。</li> </ul> <p>この項目はグループ全体について評価する。</p>